

赤潮情報第28号

（八代海：カレニア ミキモトイ 注意報 続報）

熊本県水産研究センター 浅海干潟研究部

TEL0964-56-2613 FAX56-4533

八代海でカレニア ミキモトイが確認されています

本日、熊本県が調査したところ、天草市楠浦地先でカレニア ミキモトイが 110 細胞確認されました。今後の天候や海況によって増殖する可能性がありますので、注意が必要です。

また、八代海ではゴニオラックス ポリグラマによる赤潮が発生しています（海水 1ml 当たりの細胞数は下図を参照して下さい）。

本種には魚毒性はないと言われていますが、高密度に発生した場合、海水の溶存酸素の低下を引き起こすと言われています。

周辺海域で養殖・蓄養されている場合は、海の色の変化や、飼育生物の様子に十分注意してください。

※数字は水深 0m, 2m, 5m, 10m層の海水1mL 当たりのカレニア ミキモトイの細胞数です。（ ）の数字はゴニオラックス ポリグラマの細胞数です。

×印:全ての採水層でカレニア及びゴニオラックスが0細胞の調査点。

はゴニオラックスポリグラマによる着色域です。

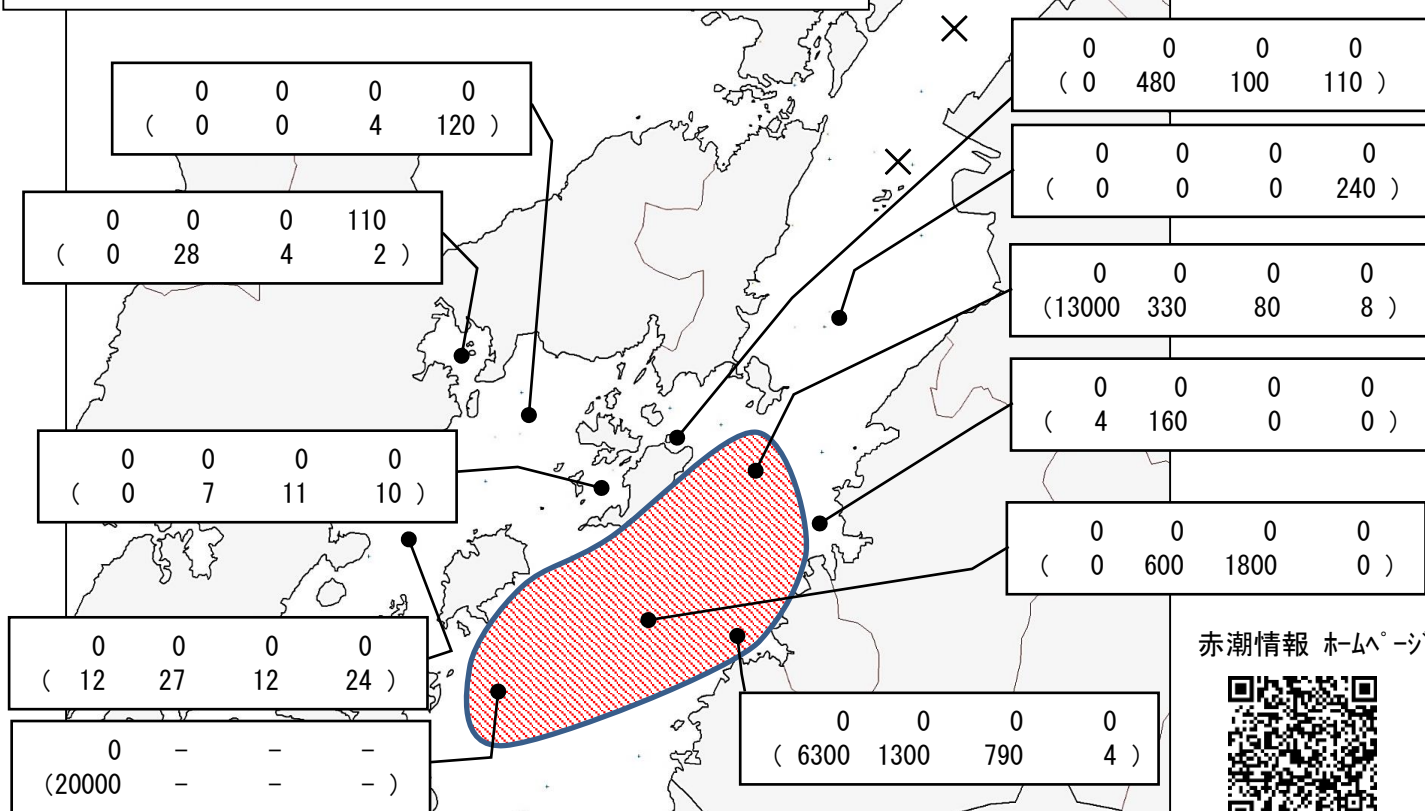


図 赤潮発生海域

赤潮情報 ホームページ



赤潮ネット



調査結果については、赤潮情報 ホームページや赤潮ネットでも確認できますので、ご利用ください（ホームページの更新に時間を要する場合があります）。

赤潮情報 ホームページ <https://www.pref.kumamoto.jp/soshiki/95/1794.html>

赤潮ネット https://akashiwo.fra.go.jp/public/kaikuInit.php?qkaiku_id=1&sid=1